

市民が選んだ玉川上水・分水網関連遺構 100 選

2020 年 1 月 玉川上水・分水網を生かした水循環都市東京連絡会事務局

■玉川上水と関連遺構

玉川上水は、江戸の城づくりである江戸総構と外濠が竣工した後に、江戸城下の上水供給を目的として開削された水路である。多摩川から羽村で取水し四谷大木戸までは開渠で、そこから江戸城までは暗渠で導水された。また、外濠・内濠の維持用水やその後に開削された多くの分水により、武蔵野台地の新田開発にも大きく寄与した。さらに、その水は多くの池泉を養い、地下に浸透して湧水、中小河川の養水となり、水の都江戸・東京の基盤となっていた。

この玉川上水・分水網の構成は昭和 40 年頃までは維持されていたが、水需要の増大等に対応するための淀橋浄水場移転、分水の水利用停止等に伴い大きく変貌し、改廃された。しかしながら、かつての水利用の痕跡は地域の中でわずかながらも残り、語り継がれ維持されてきた。

100 選遺構選考の目的は、こうした遺構を水系ごとに発掘し共有化を図ることにより、かつての玉川上水・分水網の広大な記憶を蘇らせることにある。

玉川上水・分水網を生かした水循環都市東京連絡会の構成

代表 山田正（中央大学教授）

■水循環都市東京シンポジウム実行委員会
総括実行委員長 山田正（中央大学教授）

■玉川上水・分水網保全再生連絡会

代表 田畑貞壽（千葉大学名誉教授）

■未来遺産登録団体 玉川上水ネット 代表 西村弘

■日本橋水辺再生研究会 代表 工藤哲夫

■外濠再生懇談会 共同代表 宇野求（東京理科大学教授）
陣内秀信（法政大学特任教授）

玉川上水・分水網関連遺構 100 選の選考委員

■選考委員長

西村 幸夫：歴史史文化遺産保全（プロジェクト未来遺産委員長・
神戸芸術工科大学教授）

■選考委員

鼎 信次郎：河川工学・水文学（東京工業大学理工学部教授）

知野 泰明：土木史（日本大学理工学部准教授・土木学会土木史委員会委員長）

真下 祥幸：多摩の歴史と文化（東京都江戸東京博物館学芸員）

開発 法子：自然環境（前日本自然保護協会事務局長・リスの家代表）

小坂 克信：武蔵野台地の水利用：（産業考古学会理事・水車と臼分会代表、立川市史編さん委員）

山本 泰人：江戸の水文化・下町（日本橋再生推進協議会・水辺再生研究会代表）

■玉川上水・分水網関連遺構 100 選の選考経過

玉川上水・分水網関連遺構の選考対象区域はまず、羽村から四谷大木戸を 3 区間に区分しさらに、外濠・日本橋川を経て隅田川までの自然流下する区間を玉川上水系（本線）として一体的にとらえることとした。一方、分水は基本的には系統毎に関連遺構を調査することとした。

調査は、地域で活躍している 38 の市民団体と連携して実施した。この団体毎に概ね 10 点の遺構を発掘し、その内重要と思われる遺構を 2 点を推挙いただいた。

100 選遺構の候補は全体で約 240 点集まり、その内 98 点が重要とされた。この市民が選んだ遺構について各専門分野の先生方により現時点で不適切と判断される遺構および、追加すべき遺構等を検討整理した。さらに、市民団体が重要とした遺構と委員の提案した遺構を対象として、選考委員の複数の推挙により最終的な 100 選遺構を選考した。なお、今回の調査では神田上水、田柄用水については市民団体との連携がとれなかったため対象外とした。

100 選遺構調査の参加団体

区分	活動区域	名称
未来遺産登録団体	福生市	玉川上水遊歩道を考える会
	立川市	玉川上水の自然保護を考える会
玉川上水ネット	東大和市	玉川上水野火止用水ネットワーク・東大和
	東久留米市	NPO 中国健康法普及会
	国分寺市	美しい水の会 ミズモリ団
	小平市	小平ユネスコ協会
		小平市玉川上水を守る会
		みどりのつながり市民会議
		学び舎江戸東京ユネスコクラブ
		小さな虫や草やいきものたちをささえる会
		玉川上水再々発見の会
		玉川上水ストーリーテラーズ
		小平井戸の会
	小金井市	小金井玉川上水の自然を守る会
一般団体	武蔵野市	武蔵野ユネスコ協会
		玉川上水を守り育てる武蔵野市民の会
		武蔵野の森を育てる会
	三鷹市	住みよい環境をつくる三鷹市民の会
		井の頭の歴史を知る会
		三鷹市環境市民連合
		井の頭パードリサーチ
	杉並区	玉川上水・すぎなみの会
		久我山緑の散歩道
	渋谷区	渋谷川・水と緑の会
	新宿区	NPO 新宿環境活動ネット
	埼玉県	新河岸川水系水環境連絡会
		野火止用水を守る会
		NPO 国分寺まちづくりセンター
	世田谷区	NPO 世田谷環境学習会
	板橋区	板橋史談会
	北区	北区史を考える会
	豊島区	巣鴨庚申塚のまちづくりを考える会
	文京区	文京文化資源リサーチ倶楽部
	品川区	グリーンインフラ品川
		品川用水復活研究会
	千代田区	外濠再生懇談会
	中央区	日本橋再生推進協議会・水辺再生研究会

発行：玉川上水・分水網を生かした水循環都市東京連絡会

発行日：2020 年 1 月

連絡先：文京区春日 1-1-27 中央大学理工学部都市環境学科
都市システム研究室（谷下研究室・担当辻野）

TEL 03-3817-1810

2019 年玉川上水・分水網関連遺構 100 選一覧表

区間・水系	番号	遺構名称	摘要	区間・水系	番号	遺構名称	摘要	
0.全区間	1	玉川上水素掘水路（開渠区間）	2003 年国史跡指定	5. 柴崎分水	51	旧集落を巡る柴崎水路と普濟寺の洗場	現在は公園で維持	
	2	水路沿の自然生態系			52	柴崎分水廻り水路と水田		
	3	玉川上水分水改正と分水口遺構			53	砂川分水の旧田用水（田堀）		砂川用水系
	4	玉川上水水番所（屋）・水衛所跡			54	砂川分水の開渠遺構		
	5	玉川上水通船遺構			55	源五右衛門分水の遺構群		
Ⅰ. 玉川上水 上流区間	6	多摩川の羽村堰	土木学会推奨遺産	6. 砂川用水系	56	国分寺の南野中分水開渠遺構	国分寺市唯一の開渠	
	7	玉川上水旧堀と開削工事跡	日本最古道路レンガ橋	②南野中分水	57	南野中分水の榎戸水車遺構		
	8	日光往還・日光橋（レンガアーチ橋）		③恋ヶ窪分水	58	恋ヶ窪分水の復元遺構		
	9	旧残堀川の開削遺構		古残堀川の瀬替え		59		砂川分水・高杉水車ほっこめぎ遺構
	10	古残堀川交差付近の大曲と築堤	立川断層交差部	⑥小金井分水	60	小金井分水の水門遺構		
	11	玉川上水の通船と巴河岸跡			61	小金井分水・山王窪の築樋遺構		
	12	玉川上水に隣接した金比羅山	通船の関連遺構	⑦梶野分水	62	梶野分水の築樋遺構		江戸初期に勧進
13	水道原水流過と小平監視所	昭和 40 年浄水場移転	⑧境村分水	63	境分水と杵築大社	直轄領では分水されない		
Ⅱ. 玉川上水 中流区間	14	清流復活事業と上水小橋	昭和 61 年	3. 野火止用水 ①東京都区間	64	野火止用水沿雑木林と野火止緑地	昭和 26 年まで稼働	
	15	小川橋と石橋供養塔	小川村新田開発の起点		65	東大和・ホタルの里		
	16	名勝小金井桜（サクラ）	大正 13 年名勝指定		66	當麻水車の面影を伝える恩多野火止水車苑		
	17	名勝小金井桜の中心地 小金井橋	境山野緑地	②埼玉県区間	67	野火止用水の分水口遺構	史跡公園	
	18	武蔵野雑木林・独歩の森			68	平林寺堀の築樋遺構	たかばしの伏越し	
	19	J R 中央線三鷹駅周辺の緑と玉川上水保全再生			駅高架に伴う水路整備	69	平林寺と平林寺堀	平林寺の西縁は野火止用水
	20	三鷹駅・井の頭公園をつなぐ風の散歩道			70	西分橋付近のホタル養殖	山崎水車の稼働跡	
	21	都立井の頭恩賜公園と神田上水	神田上水の水源地		71	慶応志木高校内に残る平林寺堀跡		寛文 2 年に設置
	22	玉川上水の溪谷・緑道と農業	3ヶ所に点在	8. 小平用水 ①新堀用水	72	新河岸川いろは樋跡	明治 3 年、胎内濠	
	23	人見街道と旧牟礼橋			73	分水改正と新堀用水	多摩川の水が流れる水路	
	24	玉川上水中下流の水難者慰霊碑群			74	新堀用水の小島水車遺構		明暦 3 年の古い分水
	Ⅲ. 玉川上水 下流区間	25	下高井戸の公園盛土と桜並木	3 区間に分かれる	②小川分水	75		小平用水・50kmの生きた水路と分水門群
26		新旧水路の分岐点・和泉給水所	76			青梅街道沿の小川分水と新田開発		
27		代田橋・笹塚橋間の開渠遺構	77			武蔵野を象徴する新田集落の風景		
28		玉川上水と淀橋浄水場跡地	明治 31 年～昭和 40 年	③大沼田分水	78	小川分水の築樋と悪水処理	田無村のために分水	
29		新宿御苑と四谷大木戸	江戸時代開渠終点		79	大沼田分水の築樋遺構		分水近傍の鈴木遺跡
30		玉川上水の余水吐と渋谷川	隠田川流頭	④田無分水	80	田無分水と田無宿	平成元年清流復活事業	
31		四谷大木戸碑と水道碑記	水道碑記・都史跡	⑤鈴木分水	81	鈴木分水と掛樋・鈴木遺跡	平成元年清流復活事業	
32		四谷市中配管と御門掛樋	四ツ谷見附	9. 千川上水 ①上流区間	82	千川上水遊歩道（開渠遺構）	武蔵大学構内	
33		市中配管石枡・清水公園	新宿通りで発掘		83	千川上水復元と農の風景		
34		淀橋浄水場から外濠・内堀への導水管	濠池管或いは玉川管		84	中新井分水の面影を伝える濯川		
Ⅳ. 外濠	35	真田壕跡	国史跡（昭和 31 年）		85	下板橋の水神祠とあくたどめ		旧加賀藩屋敷跡
	36	溜池と弁慶濠	国史跡（昭和 31 年）		86	旧陸軍火薬製造所の分水口と板橋浄水場		
	37	市ヶ谷濠・新見附濠・牛込壕	国史跡（昭和 31 年）	87	王子への分水と「千川上水分配堰」石碑	陸軍、紡績、醸造に変遷		
	38	飯田濠跡と神田川流出		88	大砲製造所から旧醸造試験場の水利遺構	明治 13 年水道会社設置		
Ⅴ. 日本橋川	39	神田川の流路変遷と日本橋川分派	明治 36 年開削	②下流区間	89	千川上水沈砂池等遺構（千川上水公園）	徳川綱吉の屋敷跡	
	40	日本橋川の外濠石垣と常陸橋門	昭和 3 年国史跡		90	小石川植物園の泉水	柳沢吉保の下屋敷跡	
	41	日本橋と五街道起点・道路元標	国重要文化財（平成 11 年）		91	六義園の泉水	品川用水に関連した水路	
	42	日本橋川の舟運と魚河岸跡			92	上野寛永寺への水路遺構（上野動物園内）		
	43	河港の繁栄を伝える隅田川合流近		93	仙川用水・品川用水開渠遺構	明治 18 年に設置		
1. 福生分水	44	田村分水と田村酒造	国有有形文化財登録	10. 品川用水	94	野澤の大水車遺構	旧熊本藩戸越屋敷跡	
2. 熊川分水	45	森田家別荘跡の泉水（料亭幸楽苑）	熊川分水開削明治 23 年	11. 三田用水	95	旧熊本藩戸越屋敷の泉水（戸越公園）	築樋はコンクリートに改修	
	46	熊川分水と石川酒造	国有有形文化財登録		96	三田用水・駒場の築樋遺構	旧佐賀藩主の屋敷跡	
3. 拝島分水	47	拝島分水と拝島宿跡	昭和 48 年に覆蓋化		97	鍋島松濤公園の池泉と水車復元	住宅は国指定文化財	
4. 殿ヶ谷分水	48	殿ヶ谷分水記念碑と開渠遺構			98	旧朝倉家住宅の池泉遺構	築樋の断面構造が保存	
5. 柴崎分水	49	砂川の中島水車遺構		昭和 30 年頃まで稼働	99	三田用水・白金台三丁目築樋遺構	淀橋浄水場からも助水	
	50	柴崎分水の中央線掛樋		12. 神田川助水堀	100	神田上水の助水堀遺構		

No. 6 多摩川の羽村堰



No. 10 古残堀川交差付近の大曲と築堤



No. 16 名勝小金井桜(サクラ)



No. 23 人見街道と旧牟礼橋



No. 29 新宿御苑と四谷大木戸



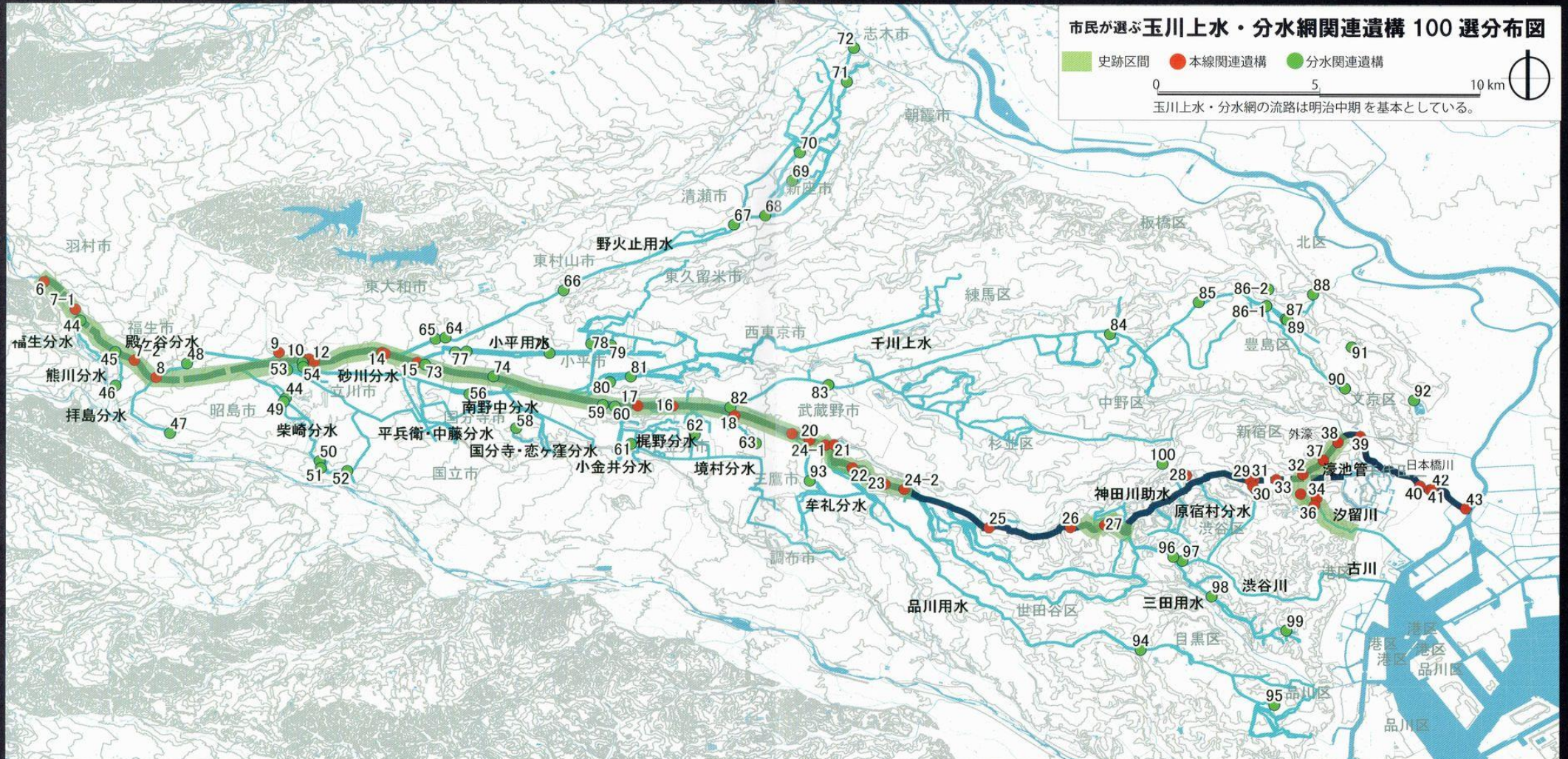
No. 37 市川濠・新見附濠・牛込濠



No. 41 日本橋と五街道起点・道路元標



No. 44 河港の繁栄を伝える隅田川合流点



No. 46 熊川分水と右川酒造



No. 54 砂川分水の開渠遺構



No. 61 小金井分水山王窪築樋



No. 69 平林寺と平林寺堀



No. 77 武蔵野を象徴する新田集落の風景



No. 89 千川上水沈砂池等遺構



No. 95 旧本藩戸越屋敷の泉水



No. 99 三田用水白金台三丁目築樋遺構